

TOPICS

“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース

鈴鹿8耐参戦 結果報告 7/29 SUN 決勝

〈決勝レース 103LAPS (8時間3分23秒112)〉

7/26日(木)~7/29日(日)、二輪整備同好会は今年も「真夏の祭典」「コカ・コーラ ゼロ」鈴鹿8時間耐久ロードレース(以下、鈴鹿8耐)に参戦しました。

今期のマシンは様々な関係各社様のご協力により、2012年モデルのCBR1000RRを投入する事が出来ました。ライダーは去年に引き続き、経験豊富な古澤基樹選手、今年から参戦の児玉勇太選手をライダーに起用。ホンダ学園カラーのマシンが鈴鹿サーキットを駆け抜けました。

予選では児玉勇太選手が当学園歴代最高タイムを記録し、総合21位で予選を通過。決勝では転倒などのトラブルもありましたが、103周(8時間3分23秒112)の記録で8時間を戦い抜き、無事にチェッカーフラッグを受けました。

今後は今回のレースで得た経験を学生ならではの創意工夫で継承し、ノウハウとして積み上げていく事により毎年チームとしての実力を上げていく事と、来年の鈴鹿8耐に向け一層のスキルアップを目指し頑張っています。

スポンサー並びに関係各位の皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



第1ライダー 古澤 基樹 (フルサウ モトキ)
2005年 鈴鹿8耐 不出場
2006年 鈴鹿8耐 総合49位
2007年 鈴鹿8耐 総合30位
2008年 鈴鹿8耐 決勝リタイア (序走28位 2'13'952)
2009年 鈴鹿8耐 決勝総合21位
2010年 鈴鹿8耐 決勝総合36位



第2ライダー 児玉 勇太 (コダマ ユウタ)
2003年 九州ロードレースST600 チャンピオン
2005年 ウェストチャレンジカップST600 チャンピオン
2005年 全日本ロードレースST600シリーズ 31位
2008年 全日本ロードレースJSB1000シリーズ 17位
2009年 鈴鹿8耐 予選15位 決勝7位



走行直前の児玉選手



スターティンググリッドでの記念撮影



コースを攻める古澤選手



決勝レース最初のピットルーティン作業



オフロード同好会

学生レポート/オフロード同好会 太田 隼人

2012キャンパスオフロード西日本大会第2戦に参戦

9月30日(日)に京都チキンランドで行われた「キャンパスオフロード西日本大会第2戦」にオフロード同好会が参戦しました。

前回の大会には参加出来なかった分、同好会メンバーは練習を重ね、この大会に臨みました。大会当日は台風17号の影響を憂慮していましたが、午前に行われた2時間耐久レースでは小雨程度でしたが、午後からのスプリントは豪雨と強風のレースとなりました。

大会結果は2時間耐久エキスパート・クラスにエントリーした山口くんが3位表彰台を果たし、同好会会長としての実力を後輩達に見せてくれました。同じ2時間耐久のフレッシュマンクラスに入学半年の松村くんが2位表彰台を果たし、また太田くんは8位と日頃の練習成果を如何なく発揮した大会でした。午後からのスプリントは豪雨と強風の中、吉川くんがスタートの出遅れと途中でのエンジントラブルを乗り越え11位完走を果たしました。

今回の大会では、如何なる場面でも最後まで諦めずに走る事を同好会メンバー同士、分かち合えた大会でした。



サイクルスポーツ同好会

学生レポート/サイクルスポーツ同好会 会長 西村 智央

「第29回 シマノ鈴鹿ロードレース」に参加

8月25日(土)・26日(日)、サイクルスポーツ同好会のメンバー6名は三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催された「第29回シマノ鈴鹿ロードレース」に参加しました。

この大会はスポーツバイクの初心者から中級レベルの選手まで楽しめる大会で、本校のサイクルスポーツ同好会も毎年参加しています。

今年の中級レベルの「インターミディエイトクラス」に2名、初心者レベルの「ビギナークラス」に4名が、そして耐久型のレース(1・2時間)には顧問の先生を含め全員が参加しました。結果は同好会会長の西村君が「インターミディエイトクラス」で6位と好成績を収め、他のメンバーもそれぞれのクラスで結果を残して、日頃の練習の成果を出し切りました。皆さん、大変暑い中お疲れ様でした。



(学生レポート).....

昨年11位と、もう少しのところまでトップ10を逃したので、今年は毎日のロードトレーニングを欠かさず行い、多い日は早朝、夕方合わせて70Km以上走ってきました。今回はその成果が出て6位入賞という結果を残せて大変うれしく思います。皆さんの応援ありがとうございました。

EVENT

保護者向け ホンダ鈴鹿工場見学会

9月21日(金)、保護者向けの「ホンダ鈴鹿工場見学会」を実施しました。当日は朝から爽やかな秋晴れに恵まれ、絶好の見学会日和となりました。

参加いただいた保護者の方は、初めて見るクルマの製造ラインに興味津々。完全無人化でロボットだけが動いている溶接工場や、秒単位でクルマが完成する完成車ライン等を見学し、あらためてホンダの技術に驚かされていました。

(参加者様のコメント).....

「学園で学んでいる学生さん達は、こんなすごい工場で作られたクルマをしっかりと整備できるようにこれからも勉強に頑張ってもらいたいです」



エコラン同好会

学生レポート/エコラン同好会 会長 山本 裕

Honda エコマイルレッジチャレンジ2012 全国大会に参加

9月16日(日)、エコラン同好会は栃木県ツインリンクもてぎで開催された「Hondaエコマイルレッジチャレンジ2012全国大会」に出場しました。

今年は3台のマシンをエントリーし、「1,000Km/ℓと10位以内」を目標に大会に臨みました。結果はチーム1が13位、チーム2が27位と僅かに目標に届かず残念な結果となりました。



(学生レポート).....

鈴鹿大会の結果から、インジェクション仕様車のセンサー反応を修正する為にハーネスを改良し全国大会に臨みました。

目標達成は出来ませんでした。この大会を通してメンバーのチームワークも良くなり、残るメンバーで来年こそ目標達成してみせます。

約50名の学生が、ボランティアで競技運営スタッフに参加しました。参加した学生は、大阪からの長旅の疲れも見せず、キビキビとした動きでスムーズな競技進行に大いに貢献していました。



学生がボランティアとして運営スタッフに参加

EV同好会

学生レポート/EV同好会 会長 上水流 勇紀

Ene-1 GP SUZUKAに参加

8月5日(日)、EV同好会は三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催された「Ene-1GP」に参加しました。ほとんどの学生が大会初参加で、「乾電池だけで車両を走らせる」ことへの期待と不安で一杯のなか、7月から放課後の時間を使って車両整備をしてこの日を迎えました。

今年は全国から77チームが参加。当日は35度を超える猛暑となり、各参加チームにトラブルが続出。本校も1周目にリアタイヤとカウルの部分にトラブルが発生し大きくタイムロス。全員で車両の修復をして、2周目は順調に走行しましたが、残念ながら3周目のダンロップの坂の手前で車両ストップ(バッテリー切れ)となりました。

しかし、今年のメンバーは1年生も多く、今回の経験を今後の活動に活かし来年は表彰台目指して頑張ります!



※Ene-1 GPとは 充電式乾電池40本を使って鈴鹿サーキットを3周走行し、その合算タイムと走行距離を争います。平坦な道だけではなく、アップダウンや急カーブがある鈴鹿サーキットのコースをいかに効率よく走るかの「エネルギー管理」に加えて、軽くて強い車体製作が求められる競技。

寮行事

「狭山ニュータウン夏祭り」にボランティアとして参加

8月18日(土)学生有志6名が近隣の「狭山ニュータウン」の夏祭りスタッフにボランティアとして参加しました。

今回のボランティアは近隣自治会スタッフの高齢化に伴い、夏祭り会場でのテント設営や、警備等を実践する人手不足から学生がボランティアスタッフとして参加する事になりました。

当日はあいにくの雨模様ではありましたが、6名の学生は積極的に会場準備から、周辺道路の安全管理、最後は盆踊りのリーダーまで務め、夏祭りの盛り上げに協力しました。また、夏祭りに参加した子供達やお年寄りから「お兄ちゃん、ありがとう」と声を掛けて頂き、地域の方々と親睦を深めることも出来ました。

参加した学生にとっては人と人のつながりの大切さが実感できたボランティアとなり、貴重な夏休みの体験となりました。



退任の挨拶

教務2課 山口 広之



工学系の人材育成を目的に2006年9月から2012年10月まで6年間、自動車研究開発科の学生の皆さんと一緒に学んできました。

いつも学生の皆さんから大きなパワーを貰い、ホンダ人生の中で最も「わくわく」し、人としての幅が広がったと感じる時間だった事を学生の皆さんにとっても感謝しています。まだまだやり残した事は多いですが、夢の一つが叶ったと今感じています。

学生の皆さんへ特に、挨拶、身嗜み、考動力は人生の宝の一つです。この3つを学園で習得して世の中で活躍されることを切に願っています。6年間ありがとうございました。